

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2020年6月1日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	さいたま市	代表者名	清水 勇人
担当者部署	都市戦略本部	連絡先電話番号	048-829-1119
担当者役職	主査	担当者氏名	勝山 修平
住所	330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	市川 博之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザーには、いわゆるデータアカデミーの手法に関する支援・助言を依頼しているところだが、豊富なノウハウや事例、自治体の都合に合わせた柔軟な対応等、これまで多くの自治体でデータアカデミーを実施してきた実績が感じられた。
アドバイザーへの要望事項	今後ともよろしくお願い申し上げます。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年5月25日	13時00分	14時00分		60
支援形態	支援・助言(オンライン)				

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	EBPMの推進において、実際の業務に必要な情報を、必要な時期に、必要な形で分析・可視化していくことが必要だが、課題解決に必要なデータ分析手法に関するノウハウが不足している。そのため、総務省「地方公共団体におけるデータ利活用ガイドブックVer.2.0」第6章にある「データアカデミー」型研修の実施を通し、データ分析ノウハウの習得やシステムの活用スキームの構築を目指すもの。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	研修の実施を通し、データ分析ノウハウの習得や情報集約・共有システムの活用スキームの構築がなされ、来年度以降、職員のみで「データアカデミー」型研修が実施できるようになること。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「データアカデミー」型研修の実施に当たり、最も重要な目標・問題・課題設定に関する考え方の習得のため、アドバイザーに講演を依頼するもの。今回はその準備打ち合わせを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演に関する準備が整った。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 準備打ち合わせのため	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

写真が存在しないため、議事録を作成し提出します(APPLIC担当者確認済み)。